まずは計量ちと計数ちについて簡単に解説いたします。。

データは、この図の通り数値データと言語データのふたつに分類されます。。

計量ちと計数ちは、数値データに該当いたします。。

計量ちは、測定してはかるもので、温度、長さ、時間といった連続的に変化するあたいのことです。。

計数ちは、数えるもので、個数、人数、欠点数といった離散的に変化するあたいのことです。

もう少し具体的に見ていきたいと思います。。

計量ちは、重さや長さ、時間、温度などが該当いたします。。

一方、計数ちは、